

令和8年第1回会津坂下町議会定例会

一般質問通告書

◎ 3月2日(月) 午前10時より

順 番	議席番号	氏 名
1	10	五十嵐 一夫
2	1	高 久 敏 明
3	8	五十嵐 正 康
4	6	小 畑 博 司
5	2	五十嵐 孝 子

◎ 3月3日(火) 午前10時より

順 番	議席番号	氏 名
6	5	横 山 智 代
7	3	目 黒 克 博
8	4	物 江 政 博
9	7	佐 藤 宗 太

No.1



令和 8年 3月
第 1 回 定 例 会

一 般 質 問 通 告 書

会津坂下町議会議員

質問者氏名 10番 五十嵐 一夫

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 旨
			第 1, 空き校舎となった旧坂下高校校舎と跡地についての活用方針はあるのか、私が提案する活用についての評価を伺う。
			1. 校舎の再利用の提案、複合施設としての活用についての評価を伺う。 2. 校舎は耐震基準を満たしているのか。 3. 利用の仕方もあるが、大きな手を加えず現状のまま使用が可能か否か。 4. 壊せば多額の費用とごみを排出します。循環型社会における資源の再利用の観点を考えて、校舎を残すのか残さないのか、方針を伺う。 5. 町に、校舎および施設の利用の具体的な方針がありましたらお示しください。

第2、会津圏域地域公共交通利便増進実施計画が示す、バス路線、喜多方・坂下線、坂下・柳津線、若松・坂下線の3路線の路線変更について伺う。

会津農林高校生の利便ということで路線の変更があるが、以下の事項についてどのように検討したのか。

1. 古坂下（一部喜多方街道入口）から仲町の区間について3路線を運行しなくなることは検討したのか。
2. 既存路線利用者の利便が失われることをどう検討したのか。
3. 会津農林高校生の通学に重きを置いているが、村田・金上方面からの中学生の通学時間が長くなると思慮するがどのように検討したのか。
4. 会津農林高校生のバス通学者の分析をしたのか。通学生の意識・希望などを検討したのか。
5. メガステージの利用者の利便性を謳っているが、坂下厚生病院と隣り合っており、路線の変更は必要なのか。どのように検討したのか。
6. メガステージ関係での域内交通とは何か、ご説明ください。
7. バス停を、移動・新設するにあたり、待合施設についての対応を伺う。
8. この計画案は修正の余地はあるのか、もう変更はできないのか。

第3、広域圏（会津若松地方広域市町村圏整備組合）からの供給用水の値上げに町はどう対応していくのか。

1. 供給用水の値上げにより、令和8年度より町としては水道料金についてどのように対応していくのか伺う。

No. 2



令和 8 年 3 月
第 1 回定例会 一般質問通告書

会津坂下町議会議員
 質問者氏名 1 番 高久 敏明

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 旨
			<p>第 1 会津坂下町のブランド戦略について</p> <p>1. ブランドイメージの向上について 町のブランドイメージを向上させることは、経済や産業面でのメリットのみならず、住民の誇りや地域への愛着を形成するなど、今後人口減少が進む状況の中で、単なる自治体の規模や財政力だけではなく“らしさ”でまちづくりを推進するための施策として重要だと考えるが見解を伺う。</p> <p>2. 会津坂下町の強みについて 当町の強みはどこにあると考えているのか。またその強みをどのように生かしてブランドイメージを打ち出そうとしているのか伺う。</p> <p>3. 広域的連携について “会津”を一つのブランドとしてみた場合、近隣市町村とも連携して戦略を考えていく必要があると思うが見解を伺う。</p> <p>4. イメージキャラクターの刷新について 平成13年2月に誕生した町のキャラクター「バンビィ」を刷新していく考えはないか伺う。</p>
			<p>第 2 町の行政組織改編について</p> <p>人口減少や高齢化が急速に進行する中、町が直面する行政課題は、まちづくり、産業振興、空き家対策、移住定住促進など一つの部署では解決できない、総合的、横断的な課題が多くなっている。</p> <p>現在、町の行政組織は、各課がそれぞれの所管業務を担う縦割り型の体制であり、今後、複合的な課題に対応していくためには、組織を改編していく必要があるのではないかと考えるが見解を伺う。</p>

No 3

No 1



令和8年3月
第1回定例会一般質問通告書

会津坂下町議会議員

質問者氏名 8番 五十嵐正康

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 件
			<p>第1 行政のDX推進とAI活用について</p> <ol style="list-style-type: none">1. DX推進とAI活用は進んでいるのか2. 庁舎建設とDX推進という並行した課題を如何に克服していくのか3. 新庁舎竣工までのDX推進AI活用体制への移行するためのロードマップを示せ
			<p>第2 食文化・産業・観光振興について</p> <ol style="list-style-type: none">1. 発酵文化の振興について<ol style="list-style-type: none">(1) これから町はどのような体制で「会津坂下町の発酵文化」というキーワードを育てていくのか(2) エリアを分けた発酵文化振興エリアを設定しての観光開発・市街地商店街再開発も可能なのではないか2. そば文化の振興について<ol style="list-style-type: none">(1) そば打ち名人の方々が立ち上げた「高寺芯そば」という坂下のそばのスタイルを100年フードに申請しているが、これから町はどのようにその取り組みを支援していくのか

NO4



令和8年3月
第1回定例会一般質問通告書

No.

会津坂下町議会議員

質問者氏名 6 番 小畑博司

会津坂下町議会議長

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 旨
			第1、 鳥獣被害対策実施隊の責務軽減をどのように考えているか。 永年にわたって実施隊の任に着き、存分に働いてこられた方々は、「今や農作物被害の防止から人命を守る役割も加わり、存在意義の変容に戸惑う」と言っておられました。人的被害が続出している現状から、今後のあり方も含め考えを伺います。
			第2、 誰もが安心して暮らせるまちづくりの一環として、農福連携を進化させる考えはないか。
			第3、 各集落での除雪に対し、共助・互助を支える考えはないか。
			第4、 田んぼを中心とした、関係人口拡大策について、今後の方向性を伺う。
			第5、 鳥取県全農が2024年から始めた、再生産費を基にした生産者米価を福島でも進めるよう働きかけるべきではないか。

№5



令和 8 年 3 月

第 1 回定例会 一般質問通告書

会津坂下町議会議員

質問者氏名 2 番 五十嵐 孝子

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件名及び要旨
			<p>第1 行政職員へのハラスメントを防止するしくみづくりについて</p> <ol style="list-style-type: none">1 首長や議員から行政職員へのハラスメントが、メディアで多くとりあげられている。そうした社会的な状況がある中で、町長はハラスメントについてどのような考えをお持ちか伺う。また、職員の安全・安心を守るためどのようなしくみが必要と考えるか見解を伺う。2 職員からハラスメントの相談や通報があった場合の相談窓口はどこで、どのように対応しているのか。3 全国的にみてもハラスメント防止条例を制定する自治体が拡大されているが、当町では「ハラスメント防止条例」はあるのか。また、その必要性についてはどのように認識しているか。4 当町では、ハラスメントに関連してどのような教育研修が行われているか。
			<p>第2 高齢者への訪問給食サービス事業について</p> <ol style="list-style-type: none">1 どのような事業で、利用者はどのくらいか。2 利用者の反応や、見守り機能的側面から事業の意義について伺う。3 訪問給食サービス事業は、どのように広報されているか。4 町は、訪問給食サービスに同行し現状を確認する考えはないか。

No.6



令和8年3月 第1回定例会一般質問通告書

会津坂下町議会議員

質問者氏名 5番 横山 智代

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件名及び要旨
			第1 農業の振興について
			昨年のお米不足の原因には「需要に応じた生産」として、農家に減産を押しつけてきた農業政策の失敗にあります。農家が安心して米作りを続け、国民が安心して日本のお米を食べられる社会の実現が重要です。今の日本の自給率は38%です。日本の備蓄米は30万トン程。中国は1年半の備蓄、フランスは常に120%を超える高い穀物自給率です。私たちの食糧は大丈夫なのでしょうか。
			町の第六次振興計画後期基本計画実施計画が示されました。
			1 重点施策として「担い手の確保」が掲げられています。
			担い手は重要ですが、その前に町の農産物の付加価値を高め、坂下町の農業を希望を持って従事できるようなものに農業者の方々と一緒に取り組むことが必要と思いますが、それについての町の考えを伺います。
			2 2017年に国連で採択された「家族農業の10年」(2019~2028年)ですが今、家族農業の重要性が世界で注目されています。
			また、2026年は国連「女性農業従事者の年(国際年)」です。
			農林水産業だけでなく流通や加工など食料システムに関わる全ての女性を対象にしています。世界で働く女性の41%が農林水産業をはじめ食料システムのどこかで雇用されている状態ですが、これらの業種に関わる女性達の持つ力や役割にもっとスポットライトを当てることが、「国際年」の

<p>根底にあります。世界全体の大部分を占める家族農業。</p>
<p>家族農業に占める女性の役割は大きなものです。</p>
<p>最近「農業女子」と呼ばれる人達も多くなってきているようです。</p>
<p>坂下町の「農業女子」の取り組み、そしてそれを大きく広げて行くこと 対しての考えを伺います。</p>
<p>3 農業人口が少なくなっている中で、持続可能な生産を続けること に対する施策について考えを伺います。</p>
<p>第2 循環型社会の形成について</p>
<p>1 ゼロカーボン推進事業が掲げられていますが、ゼロカーボンシティを 宣言する考えはあるか伺います。</p>
<p>2 エコ活動や脱炭素化につながる情報発信、啓発活動だけでは今までと変わらず 前進するのは難しいと思われませんが、どのように進められるのか伺います。</p>
<p>3 今までのゴミ減量化、リサイクル推進事業の進捗状況と効果と問題点について 伺います。</p>
<p> </p>
<p> </p>
<p> </p>
<p> </p>

NO7



令和8年3月
第1回定例会 一般質問通告

会津坂下町議会議員

質問者氏名 3番 目黒克博

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件名及び要旨
			<p>第1 ゴミ減量化とリサイクル推進について問う。</p> <p>1、ゴミの減量化対策について、各行政区に説明会を実施され、事業内容の情報発信強化を図りましたが、リサイクル率向上を含めた事業実施内容について伺う。</p> <p>2、ゴミの削減は町民の協力を得ることが不可欠であり、どの様な周知方法をとるのかを伺う。</p>
			<p>第2 企業誘致推進・雇用促進の事業について問う。</p> <p>企業誘致は当町にとって重要施策と考えますが、誘致活動の取組みと、雇用人材確保の支援について伺う。</p>
			<p>第3 町営住宅の管理について問う。</p> <p>台ノ下住宅の現在の入居率・年齢層と、今後の維持管理について伺う。</p>
			<p>第4 町産業と観光事業について問う。</p> <p>2026年4月1日～6月30日の3カ月にわたって県内全域で開催する「福島デスティネーションキャンペーン」を利用して坂下町をPR等で活性化できないか。当町の考えを伺う。</p>
			<p>第5 防災組織の強化について問う。</p> <p>近年、災害が多様化・大規模化する中、消防団は従来の消火・救助活動に加え、避難誘導や安否確認等、多様な役割が求められている。将来の消防団員不足が危惧されることから、当町は様々な運用・見直し等の実施をされています。そこで機能別消防団の導入検討の進捗と各行政区の自主防災組織の設立支援について伺う。</p>

NO.8



令和 8 年 3 月
第 1 回定例会一般質問通告書

No. 1

会津坂下町議会議員

質問者氏名 4 番 物江 政博

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件名及び要旨
第1.			当町の祭事について
			1. 大俵引きに関して
			(1) 参加人員を増やす為の案はあるか。
			(2) 祭りを見に来れるよう交通機関の対策はあるか。
			(3) 同時に行われている初市の開催時間の延長は考えられるか。
			2. 流し踊りに関して
			(1) コロナ禍以来、参加団体が減少した事にどう対処しているか。
			(2) 現在小学校に於いて坂下音頭を教えない事に対しどう思うか。
			(3) 坂下音頭に代わる踊りの発想はあるか。
			3. 秋祭りに関して
			(1) 現庁舎解体後、秋祭りの大看板の仮装行列を何処で行うつもりか。
			4. お田植祭りに関して
			(1) 会津農林高校の生徒さんの早乙女踊りを当町として、どう支援していくのか。
第2.			旧坂下高校跡地の利用を問う
			1. 体育館・武道場は運動施設として利用することは、できないか。
			2. 町由来の著名人の記念館として利用できないか。

No.9



令和 8 年 3 月 第 1 回定例会一般質問通告書

会津坂下町議会議員

質問者氏名 7 番 佐藤 宗太

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件名及び要旨
			第1 産業行政について
			1 工業団地造成について
			(1) 過去5年における企業誘致の成果を伺う。
			(2) 当町の製造業等は、高度経済成長時に竣工されたものが多く、多くの建物が老朽化しはじめており、既存敷地内での建て替えが難しいと思われる企業が少なくない。また、増設するにも敷地内では難しいとも思われる企業が見受けられる。近年の円安傾向の影響により、製造業の国内内製化が再評価されはじめている社会情勢の中で、当町における工業団地造成の必要性をどのように認識しているか伺う。
			(3) 過去に一般質問した経緯があるが、工業団地と栄えている真宮工業団地と隣接している当町の敷地内、もしくは利便性の高い国道49号線沿いに工業団地造成をすべきと思うが、昨今の情勢をふまえた当町の認識を伺う。
			2. 観光振興について
			(1) 福島県では2026年4月から6月までJRグループと連携した国内最大級の観光キャンペーン「ふくしまデスティネーションキャンペーン」が開催される。当町の誘客に向けた取り組みを伺う。
			(2) 「世界一ロマンチックな秘境鉄道」などと謳われ、国内のみならず海外からも注目されている只見線沿線を活用した広域観光の取り組みにおける当町の役割について伺う。
			(3) ふくしまデスティネーションキャンペーンに関連する当町の経済効果や目標値について伺う。
			第2 福祉行政について
			1. 当町における孤独死の現状について伺う。
			2. 一人暮らしを含めた高齢者世帯の現状と支援策について伺う。